



みなさん、こんにちは

既に 病院の講演会開催のホームページでも記載がありますが、10月5日に、日本臨床腫瘍学会という、がんの薬物療法についての総本山というべき学会の理事長をしておられる神戸大学教授の南先生にご講演いただきました。

なかなか一地方の病院に、このような高名な先生にご講演にきていただけることはないと思ひ、講演を引き受けていただいたときからどきどきしていたのですが、現実にご講演にきていただけて大変うれしい時間でした。

南先生は長野県のご出身で、常々長野県のがん診療を気にかけて下さったとこと、お立場上、同学会が認定している、がん薬物療法専門医の名前の中に、私のようなかわった苗字がいるなということを知っていて下さったそうです。

常日頃、かわった苗字で、電話口で、苗字をいっても、『下の名前でなくてちゃんと言ってください』とか、『しみず さんですね』とかいわれ、訂正するのが面倒で『しみずです』と答えたり、特に悪いことはしていませんが、何かしたら目立つ名前で生きにくさを感じていましたが、こういういいこともあるのだなと親に感謝した次第です。

南先生のお話は、我々 がんの薬物治療を行う物にとっての 基本かつ盲点となりえるところを確認する良い機会となりました。

た。

この地域のがん診療をさらに充実できるよう、がんばっていきたいと思います。

今回は無駄話が多かったと思いますが、では、また。